

Ⅲ 調査結果の概要

1 製造業の概要

(1) 自工場生産額、自工場消費額、出荷額

◆自工場生産額 7兆4,403億円 自工場消費額 1兆1,575億円 出荷額 6兆1,396億円

有効回答調査票を集計した結果、年間の自工場生産額は7兆4,403億円であった。

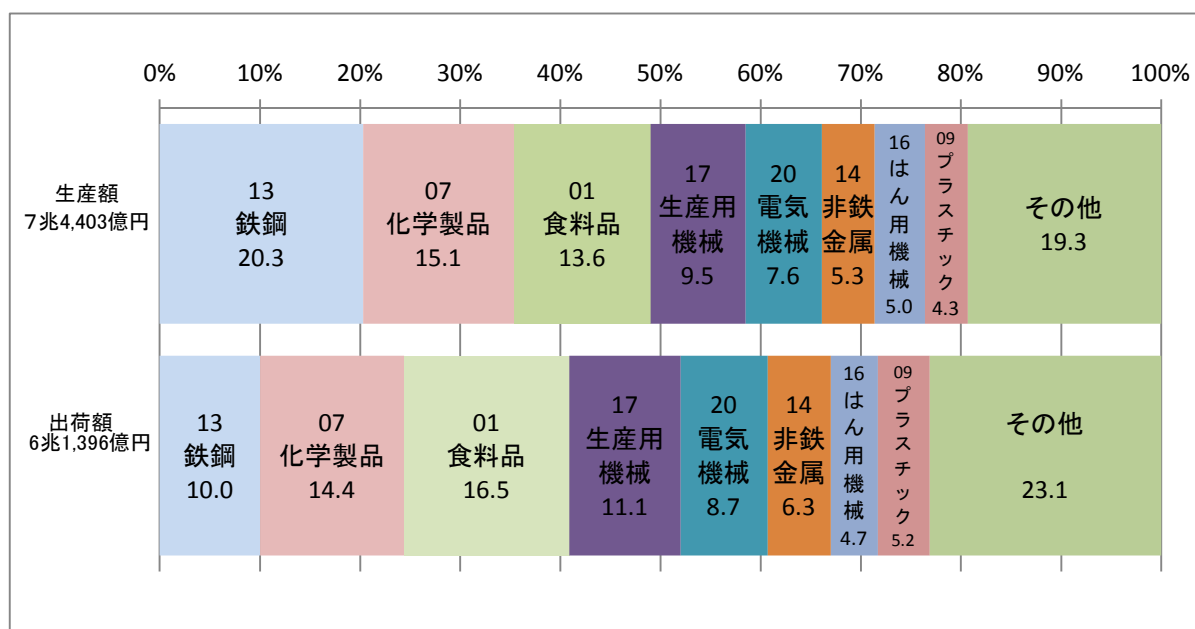
品目別にみると、「13 鉄鋼」が1兆5,053億円（20.3%）で最も大きく、次いで「07 化学工業製品」（15.1%）、「01 食料品」（13.6%）と続き、この上位3品目で年間生産額の概ね半分を占めている（49.0%）。

一方、出荷額は6兆1,396億円であった。

品目別では、「01 食料品」が1兆78億円（16.5%）で最も大きく、次いで「07 化学工業製品」（14.4%）、「17 生産用機械器具」（11.1%）の順となっている。出荷額においては、上位3品目で全体の約4割（42.0%）を占めている。

なお、自工場の製造品をさらに次工程の生産原材料として自工場で消費した額を指す「自工場消費額」は1兆1,575億円であり、「13 鉄鋼」が76.3%で突出して高い。【第1図、第1表】

第1図 自工場生産額及び出荷額の品目別構成比



※「その他」には、表章されていない全ての品目を含む。

第1表 品目分類別, 自工場生産額・自工場消費額・出荷額(実数・割合)

(単位: 百万円, %)

項目 品目分類	自工場 生産額	品目別 割合	自工場 消費額	品目別 割合	出荷額	品目別 割合
合計	7,440,322	100.0	1,157,492	100.0	6,139,610	100.0
1 食料品	1,013,005	13.6	3,832	0.3	1,007,839	16.5
2 繊維工業品	12,777	0.2	20	0.0	12,758	0.2
3 木材・木製品	47,158	0.6	11,255	1.0	36,239	0.6
4 家具・装備品	36,251	0.5	348	0.0	34,926	0.6
5 パルプ・紙・紙加工品	105,664	1.4	4,270	0.4	101,157	1.6
6 印刷・同関連品	47,147	0.6	0	-	47,026	0.8
7 化学工業製品	1,116,317	15.1	226,104	19.5	881,601	14.4
8 石油製品・石炭製品	69,714	0.9	0	-	69,714	1.1
9 プラスチック製品	321,419	4.3	4,177	0.4	316,868	5.2
10 ゴム製品	24,455	0.3	3	0.0	24,452	0.4
11 なめし革・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-
12 窯業・土石製品	167,361	2.2	2,231	0.2	161,684	2.6
13 鉄鋼	1,505,255	20.3	881,952	76.3	614,663	10.0
14 非鉄金属	394,360	5.3	3,160	0.3	388,310	6.3
15 金属製品	282,130	3.8	513	0.0	281,616	4.6
16 はん用機械器具	368,307	5.0	12,260	1.1	288,540	4.7
17 生産用機械器具	704,106	9.5	458	0.0	684,219	11.1
18 業務用機械器具	124,636	1.7	69	0.0	124,477	2.0
19 電子部品・デバイス・電子回路	233,032	3.1	101	0.0	232,587	3.8
20 電気機械器具	566,677	7.6	1,559	0.1	535,404	8.7
21 情報通信機械器具	8,892	0.1	0	-	8,892	0.1
22 輸送用機械器具	256,363	3.4	5,000	0.4	251,342	4.1
23 その他の製品	35,296	0.5	180	0.0	35,296	0.6

※「品目別割合」の端数は小数点第2位を四捨五入し、合計が100%となるよう、構成割合の多い項目で調整している。

(2) 製造品出荷額の出荷先地域別割合

◆出荷先割合：県内 16.7% 県外 61.9% 国外 21.4%

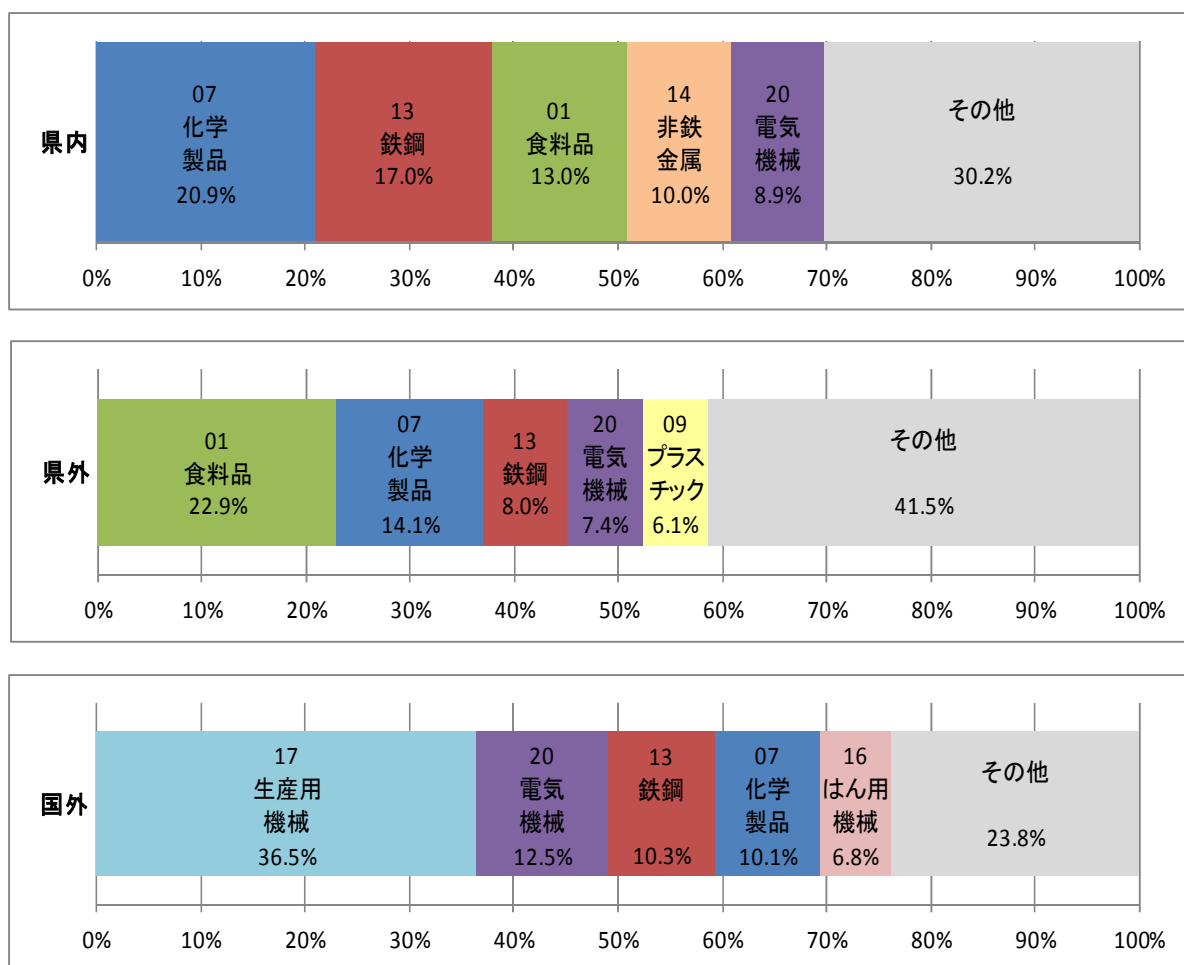
製造品出荷額について出荷先地域別にみていくと、**県内**への出荷額は1兆246億円で、県内出荷率は16.7%であった。品目分類別の出荷額割合では、「04 家具・装備品」(4.2%)や「17 生産用機械器具」(4.0%)の県内出荷率が小さい一方、「08 石油製品・石炭製品」(44.7%)や「06 印刷・同関連品」(32.1%)が大きい。また、県内における出荷額割合でみると、「07 化学工業製品」(20.9%)や「13 鉄鋼」(17.0%)の割合が大きい。

県外への出荷額は3兆8,032億円で、県外出荷率は61.9%であった。品目分類別の出荷額割合は、全ての品目で総じて高いが、「04 家具・装備品」(95.1%)の県内出荷率が最も大きい。また、県外における出荷額割合では、「01 食料品」(22.9%)や「07 化学工業製品」(14.1%)が大きい。

国外への出荷額は1兆3,118億円で、国外出荷率は21.4%であった。品目分類別の出荷額割合は、「01 食料品」(0.1%)や「21 情報通信機械器具」(0%)の国外出荷率が小さい一方、「17 生産用機械器具」(70.0%)や「16 はん用機械器具」(31.0%)「20 電気機械器具」(30.7%)が大きい。また、国外における出荷額割合でみると、「17 生産用機械器具」(36.5%)の割合が大きい。

【第2図, 第3図, 第2表, 第3表】

第2図 県内・県外・国外別、品目分類別、出荷額割合



第2表 品目分類別, 出荷額, 県内・県外・国外別(実数・割合)

(単位:百万円, %)

項目 品目分類	出 荷 額							
	A+B+C		県 内		県 外		国 外	
	A+B+C	割合	A	割合	B	割合	C	割合
合 計	6,139,610	100.0	1,024,633	100.0	3,803,167	100.0	1,311,810	100.0
1 食料品	1,007,839	16.5	132,816	13.0	873,528	22.9	1,495	0.1
2 繊維工業品	12,758	0.2	1,845	0.2	10,668	0.3	245	0.0
3 木材・木製品	36,239	0.6	6,332	0.6	29,136	0.8	771	0.1
4 家具・装備品	34,926	0.6	1,470	0.1	33,221	0.9	235	0.0
5 パルプ・紙・紙加工品	101,157	1.6	22,504	2.2	77,899	2.0	754	0.1
6 印刷・同関連品	47,026	0.8	15,072	1.5	31,335	0.8	619	0.0
7 化学工業製品	881,601	14.4	214,261	20.9	535,052	14.1	132,288	10.1
8 石油製品・石炭製品	69,714	1.1	31,198	3.0	38,250	1.0	266	0.0
9 プラスチック製品	316,868	5.2	30,819	3.0	233,305	6.1	52,744	4.0
10 ゴム製品	24,452	0.4	1,613	0.2	21,900	0.6	939	0.1
11 なめし革・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-
12 窯業・土石製品	161,684	2.6	25,778	2.5	115,321	3.0	20,585	1.6
13 鉄鋼	614,663	10.0	174,581	17.0	304,347	8.0	135,735	10.3
14 非鉄金属	388,310	6.3	102,794	10.0	226,056	5.9	59,460	4.5
15 金属製品	281,616	4.6	34,320	3.3	230,502	6.1	16,794	1.3
16 はん用機械器具	288,540	4.7	49,760	4.9	149,323	3.9	89,457	6.8
17 生産用機械器具	684,219	11.1	27,614	2.7	177,970	4.7	478,635	36.5
18 業務用機械器具	124,477	2.0	7,605	0.7	109,656	2.9	7,216	0.6
19 電子部品・デバイス・電子回路	232,587	3.8	32,289	3.2	132,617	3.5	67,681	5.2
20 電気機械器具	535,404	8.7	91,165	8.9	279,698	7.4	164,541	12.5
21 情報通信機械器具	8,892	0.1	1,802	0.2	7,090	0.2	0	-
22 輸送用機械器具	251,342	4.1	14,184	1.4	165,326	4.3	71,832	5.5
23 その他の製品	35,296	0.6	4,811	0.5	20,967	0.6	9,518	0.7

※「出荷額」には、自工場以外からの製品受入額を含んでいる。

※「割合」の端数は小数点第2位を四捨五入し、合計が100%となるよう、構成割合の多い項目で調整している。

第3表 品目分類別、出荷額割合

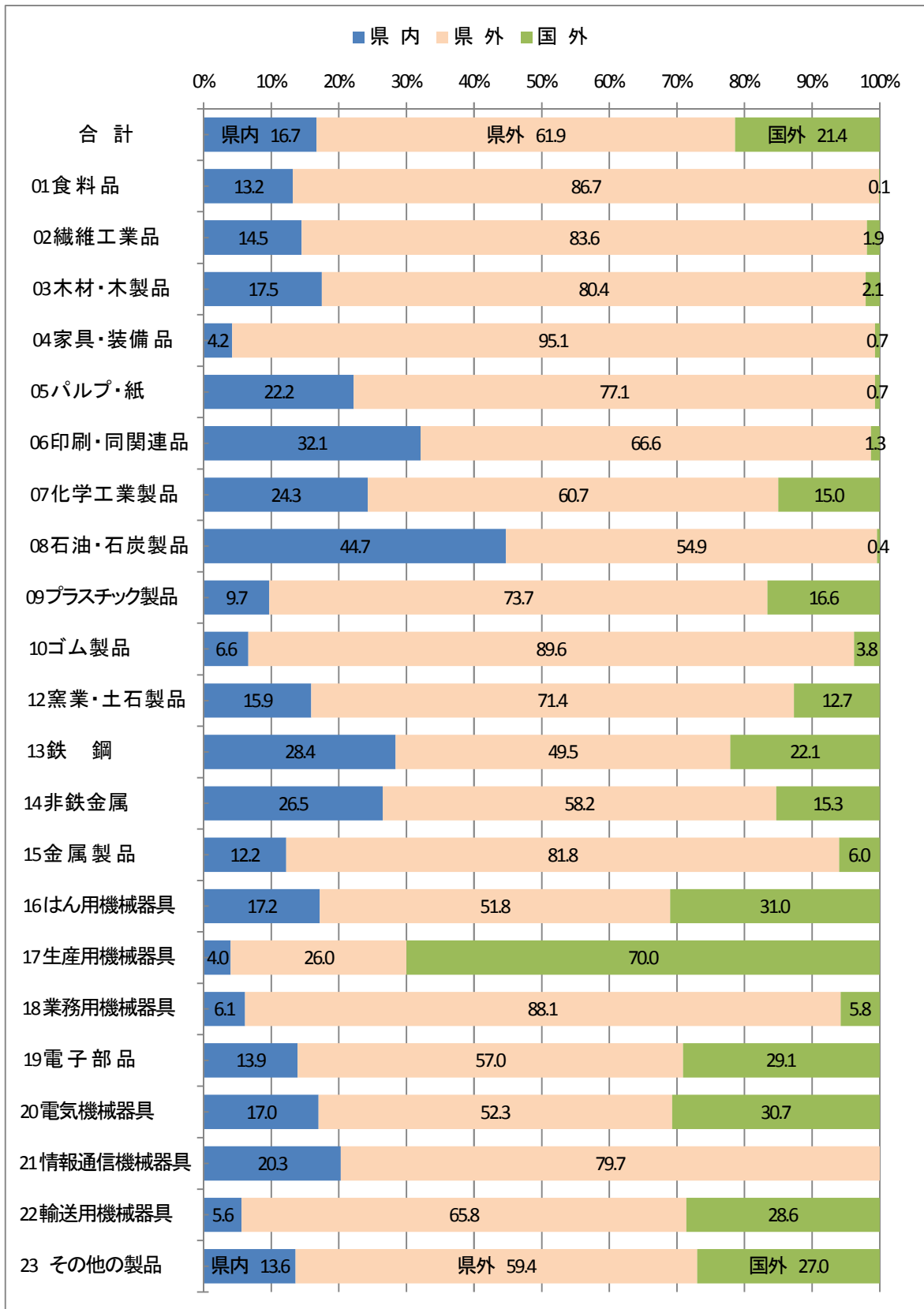
(単位:%)

項目 品目分類	出 荷 額			
	A+B+C	県 内 A	県 外 B	国 外 C
合 計	100.0	16.7	61.9	21.4
1 食料品	100.0	13.2	86.7	0.1
2 繊維工業品	100.0	14.5	83.6	1.9
3 木材・木製品	100.0	17.5	80.4	2.1
4 家具・装備品	100.0	4.2	95.1	0.7
5 パルプ・紙・紙加工品	100.0	22.2	77.1	0.7
6 印刷・同関連品	100.0	32.1	66.6	1.3
7 化学工業製品	100.0	24.3	60.7	15.0
8 石油製品・石炭製品	100.0	44.7	54.9	0.4
9 プラスチック製品	100.0	9.7	73.7	16.6
10 ゴム製品	100.0	6.6	89.6	3.8
11 なめし革・同製品・毛皮	-	-	-	-
12 窯業・土石製品	100.0	15.9	71.4	12.7
13 鉄鋼	100.0	28.4	49.5	22.1
14 非鉄金属	100.0	26.5	58.2	15.3
15 金属製品	100.0	12.2	81.8	6.0
16 はん用機械器具	100.0	17.2	51.8	31.0
17 生産用機械器具	100.0	4.0	26.0	70.0
18 業務用機械器具	100.0	6.1	88.1	5.8
19 電子部品・デバイス・電子回路	100.0	13.9	57.0	29.1
20 電気機械器具	100.0	17.0	52.3	30.7
21 情報通信機械器具	100.0	20.3	79.7	-
22 輸送用機械器具	100.0	5.6	65.8	28.6
23 その他の製品	100.0	13.6	59.4	27.0

※「出荷額」には、自工場以外からの製品受入額を含んでいる。

※「割合」の端数は小数点第2位を四捨五入し、合計が100%となるよう、構成割合の多い項目で調整している。

第3図 品目分類別，出荷額割合



(3) 軽工業・重工業別の出荷額割合

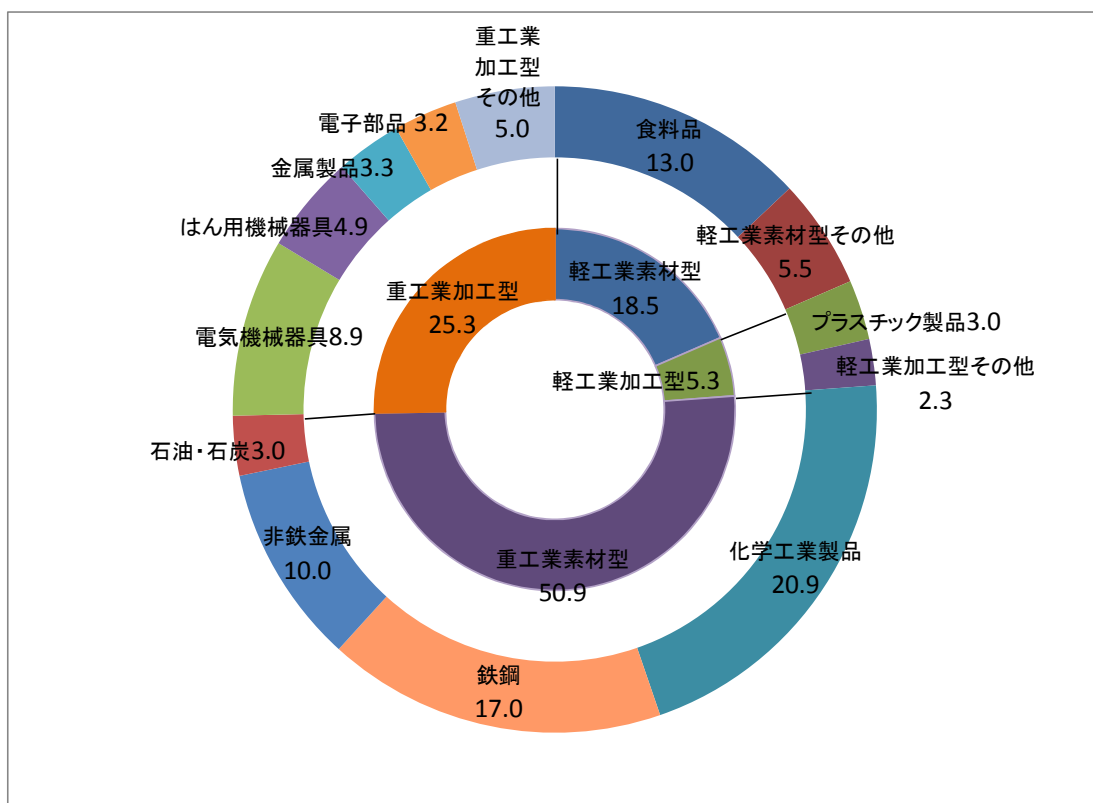
県内出荷額の構成比を分類別にみると、重工業素材型の品目が約半数（50.9%）を占め、「07 化学工業製品」（20.9%）や、「13 鉄鋼」（17.0%）などの比率が高い。次いで、重工業加工型の品目が25.3%を占め、「20 電気機械器具」（8.9%）や、「16 はん用機械器具」（4.9%）の比率が高い。また、軽工業素材型（18.5%）と軽工業加工型（5.3%）を合わせて全体の約4分の1（23.8%）となっている。

県外出荷額の構成比を分類別にみると、軽工業素材型（29.0%）と軽工業加工型（9.0%）を合わせた軽工業全体で38.0%、重工業素材型が29.0%、重工業加工型が33.0%と、それぞれ概ね3分の1程度の比率となっている。なお、「01 食料品」の比率は22.9%であり、軽工業素材型の大部分を占めている。

国外出荷額の構成比を分類別にみると、重工業素材型（24.9%）と重工業加工型（68.4%）を合わせた重工業全体で93.3%となっている一方、軽工業の比率は6.7%と低い。なお、重工業のうち「17 生産用機械器具」の比率は36.5%であり突出して高くなっている。

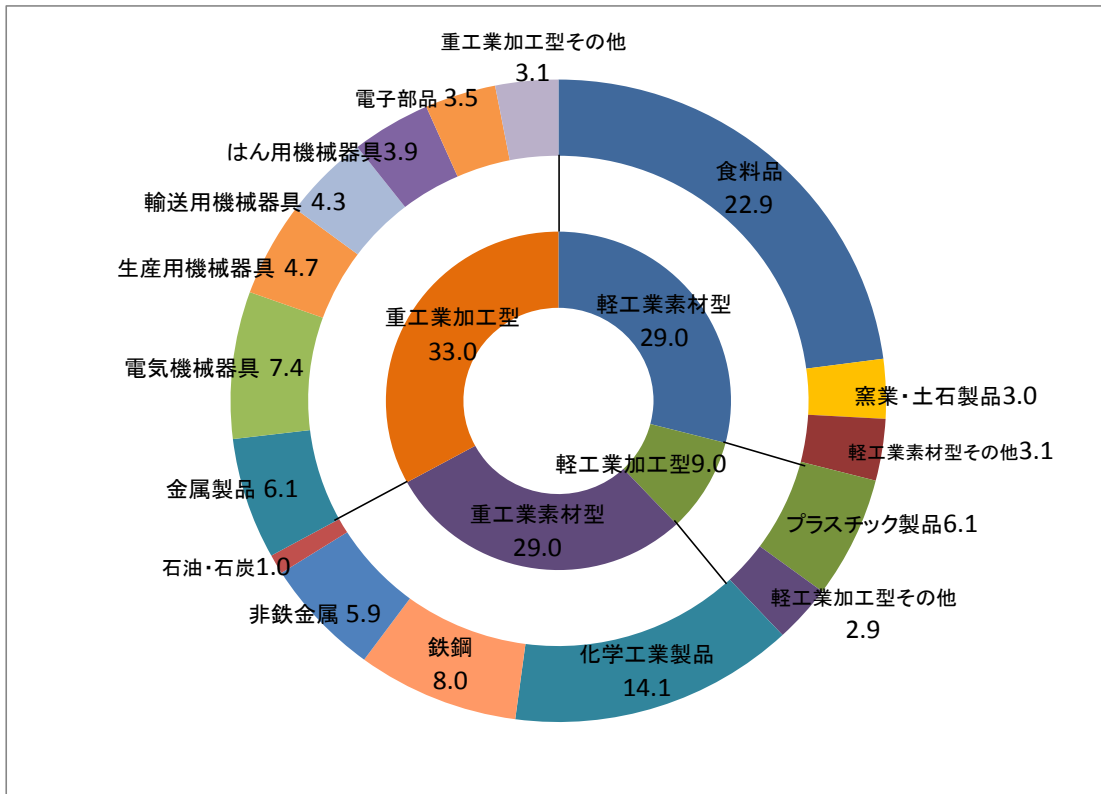
【4-1図, 4-2図, 4-3図】

第4-1図 県内への製造品出荷額割合 (単位：%)



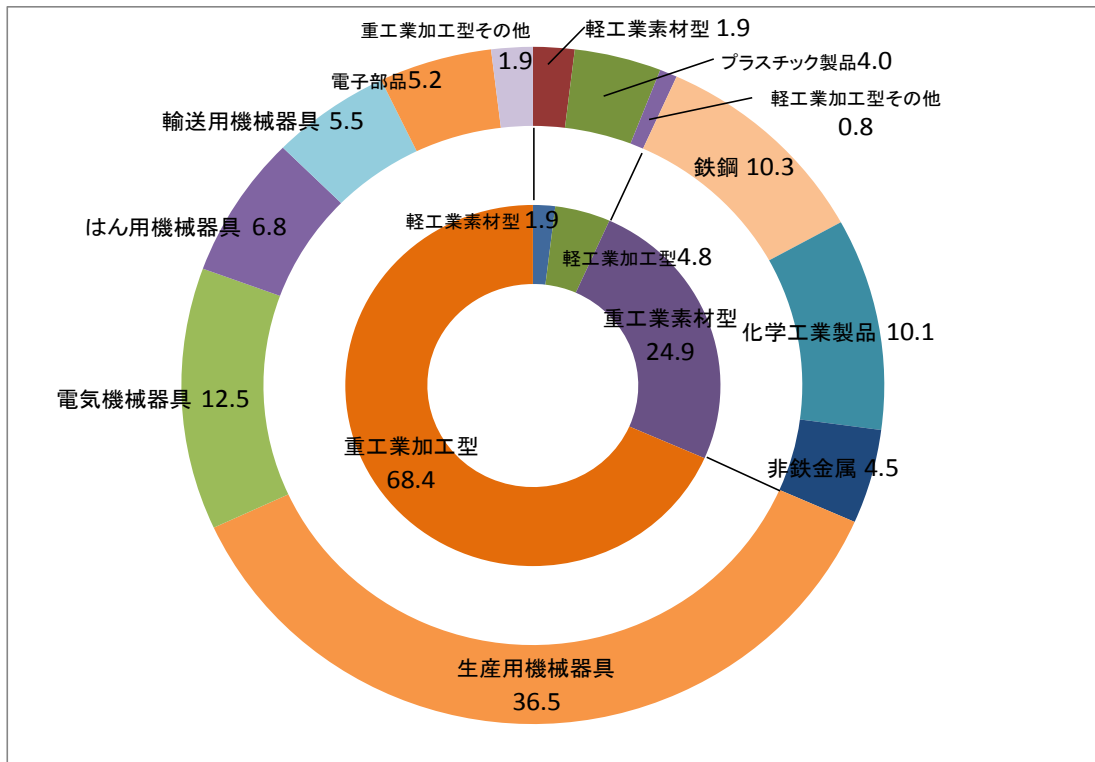
第4-2図 県外への製造品出荷額割合

(単位：%)



第4-3図 国外への製造品出荷額割合

(単位：%)



(4) 出荷品目構成比，出荷先地域別割合の推移

◆出荷品目構成比は，一般機械や食料品の比率が高まっている。

製造品の出荷品目構成比を，過去に実施した調査データと比較してみると，調査当初（昭和55年）に割合が最も大きかった「電気機械」は7.3ポイント（16.0%から8.7%に）減少し，次に割合の大きかった「鉄鋼」も4.2ポイント（14.2%から10.0%に）減少している。

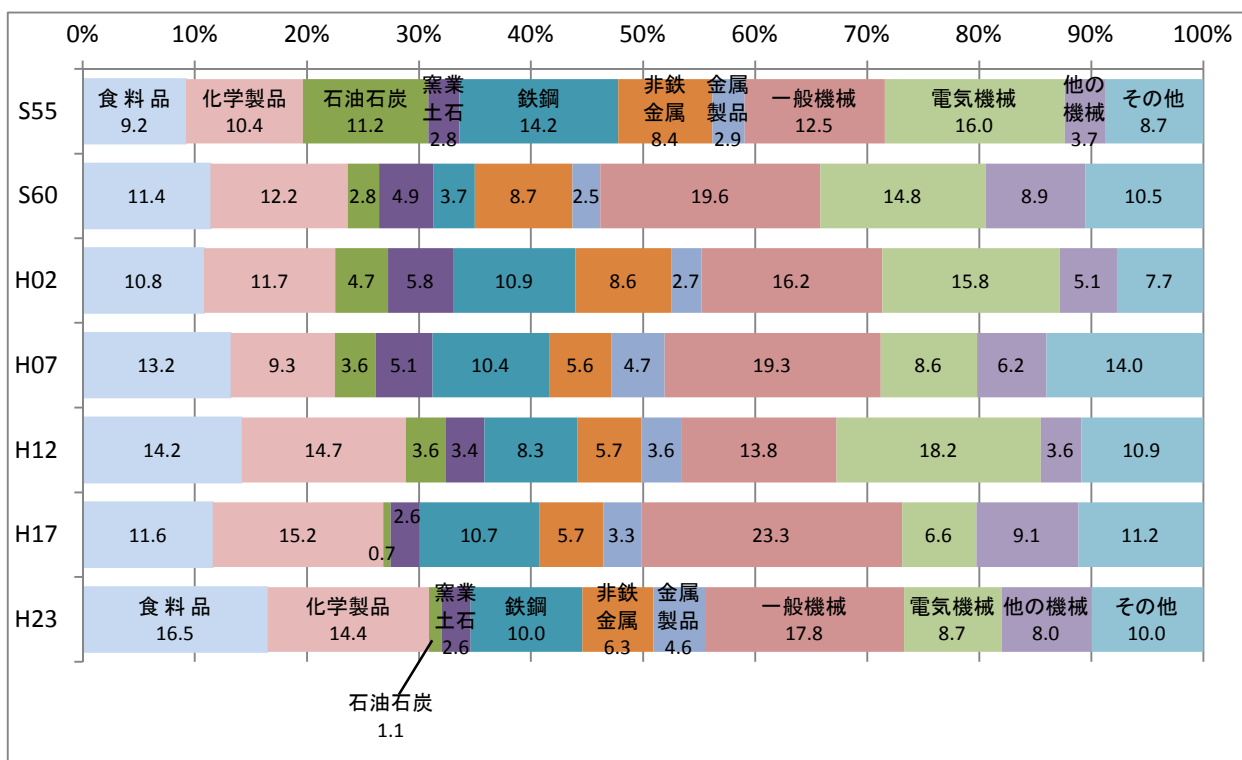
一方，「一般機械」は，調査当初から5.3ポイント（12.5%から17.8%に）増加し，「食料品」は7.3ポイント（9.2%から16.5%に）増加している。

出荷先地域別割合の推移については，全品目の「合計」は，平成7年を底に県内への出荷割合が減少していたが，以降再び県内割合が増加しつつある。また，国外の比率も増加傾向にある。

これを今回調査で出荷額の構成比が大きかった5品目についてみると，「化学製品」及び「電気機械」は，「合計」と同様に，県内への出荷割合が平成7年までは一貫して減少していたものが，それ以降は上昇傾向にある。また，国外の比率が増加傾向にあるのも「合計」と同様である。

「鉄鋼」については，近年，県外への出荷割合が減少する一方，県内及び国外の比率が高まっている。「一般機械」については県内への出荷割合に大きな変化はないが，国外の比率が大きく高まっている。「食料品」については県内・県外・国外とも大きな変化がない。【第5図，第6図】

第5図 出荷品目構成比の推移



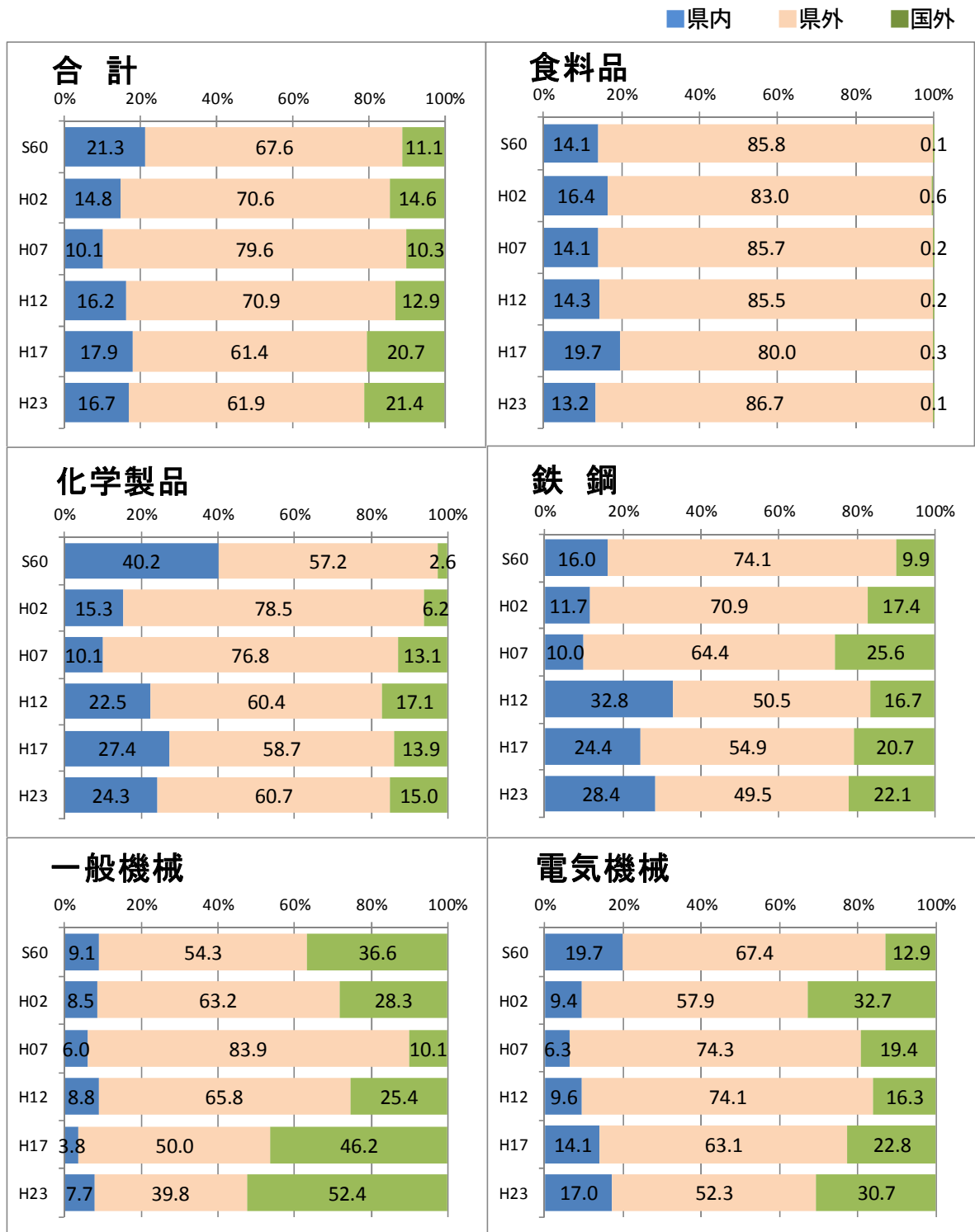
※各調査年次により調査対象数や有効回答率が異なるため，単純比較はできない。参考値として掲載。

※「一般機械」は，はん用機械器具，生産用機械器具，業務用機械器具を指す。

※「他の機械」は，電子部品・デバイス・電子回路，情報通信機械器具，輸送用機械器具を指す。

※「その他」には，食料品から他の機械までの項目以外の全ての品目が含まれている。

第6図 出荷先地域別割合の推移
(全品目の合計及び出荷額割合の大きい5品目)



※各調査年次により調査対象数や有効回答率が異なるため、単純比較はできない。参考値として掲載。

※「一般機械」は、はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具を指す。

※昭和55年調査では、国外比率を算出していないため数値は不明であり、図には掲載していない。

(5) 県外出荷額の都道府県別割合

◆東京都への出荷額割合 10.2%, 埼玉県%6.7, 神奈川県 6.3%

県外出荷額割合を出荷先都道府県別にみると、合計では東京都が10.2%と最も高く、次いで埼玉県が6.7%, 神奈川県が6.3%の順で、この3都県で県外出荷額の約4分の1(23.2%)を占めている。

品目別の出荷先1位の都道府県は、東京都が23品目中13品目を占め、圧倒的に多い。東京都以外では、埼玉県、神奈川県が2品目で1位となった。

次に「国外への出荷割合」を品目別にみると、「17 生産用機械器具」が73.0%と最も高く、次いで、「16 はん用機械器具」の37.5%、「20 電気機械器具」の37.1%、「19 電子部品・デバイス・電子回路」の33.8%の順で、重工業に属する品目で高い。【第4表】

第4表 品目分類別、都道府県別・国外別、出荷額割合

項目 品目分類	県外出荷額 (県外+国外) (百万円)	都道府県別割合 (%)								国外
		計	1位		2位		3位		その他の 都道府県	
			県名	割合	県名	割合	県名	割合		
合計	5,114,977	100.0	東京都	10.2	埼玉県	6.7	神奈川県	6.3	51.3	25.5
1 食料品	875,023	100.0	東京都	18.0	埼玉県	17.0	千葉県	14.7	50.1	0.2
2 繊維工業品	10,913	100.0	富山県	11.7	静岡県	11.6	東京都	10.8	63.7	2.2
3 木材・木製品	29,907	100.0	東京都	17.6	埼玉県	15.9	千葉県	13.1	50.8	2.6
4 家具・装備品	33,456	100.0	東京都	26.7	神奈川県	8.2	千葉県	7.5	56.9	0.7
5 パルプ・紙・紙加工品	78,653	100.0	埼玉県	15.5	東京都	10.8	千葉県	9.7	63.0	1.0
6 印刷・同関連品	31,954	100.0	東京都	42.8	埼玉県	15.3	千葉県	5.1	34.9	1.9
7 化学工業製品	667,340	100.0	埼玉県	7.3	神奈川県	6.6	千葉県	5.1	61.2	19.8
8 石油製品・石炭製品	38,516	100.0	岡山県	18.7	北海道	13.8	千葉県	12.3	54.5	0.7
9 プラスチック製品	286,049	100.0	神奈川県	8.3	東京都	7.7	千葉県	7.5	58.0	18.5
10 ゴム製品	22,839	100.0	東京都	8.4	愛知県	8.0	大阪府	8.0	71.5	4.1
11 なめし革・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12 窯業・土石製品	135,906	100.0	東京都	13.4	神奈川県	8.6	千葉県	8.5	54.5	15.0
13 鉄鋼	440,082	100.0	愛知県	9.0	千葉県	8.0	神奈川県	7.6	44.5	30.9
14 非鉄金属	285,516	100.0	東京都	9.4	愛知県	8.6	栃木県	8.3	52.8	20.9
15 金属製品	247,296	100.0	東京都	18.9	神奈川県	14.6	埼玉県	9.9	49.8	6.8
16 はん用機械器具	238,780	100.0	東京都	16.6	神奈川県	5.4	大阪府	4.6	35.9	37.5
17 生産用機械器具	656,605	100.0	神奈川県	3.1	北海道	1.6	埼玉県	1.5	20.8	73.0
18 業務用機械器具	116,872	100.0	東京都	47.1	大分県	9.4	青森県	8.7	28.7	6.1
19 電子部品・デバイス・電子回路	200,298	100.0	山形県	9.1	東京都	4.7	石川県	4.7	47.7	33.8
20 電気機械器具	444,239	100.0	東京都	9.2	栃木県	6.0	千葉県	4.6	43.1	37.1
21 情報通信機械器具	7,090	100.0	東京都	19.1	大阪府	11.4	愛知県	6.5	63.0	-
22 輸送用機械器具	237,158	100.0	愛知県	16.4	神奈川県	11.0	静岡県	6.0	36.2	30.4
23 その他の製品	30,485	100.0	東京都	18.3	大阪府	7.6	福岡県	4.8	38.0	31.3

※「割合」の端数は小数点第2位を四捨五入し、合計が100%となるよう、構成割合の多い都道府県で調整している。

※「割合」が同値であっても、小数点2位以下の値が異なる場合は、当該値により順位付けしている。

◆東京都が昭和60年調査以降6回連続で1位

県外出荷額の出荷先都道府県別割合を、過去に実施した調査データと比較してみると、全品目の**合計**では、東京都が昭和60年調査以降6回連続1位である。ただし、割合は減少しており、今回の（平成23年）値は、昭和60年値の4分の1程度となっている。2位及び3位は、千葉県、神奈川県、埼玉県などであり、本県と首都圏との深い結びつきが伺える。

今回の調査で出荷額の構成比が大きかった5品目についてみると、**食料品**では、昭和60年調査以降6回連続で東京都が1位、2及び3位は調査年によって順位は入れ替わるが、埼玉県と千葉県となっている。

化学製品では、1位は埼玉県、2位は神奈川県、3位は千葉県となり、東京都は初めて4位となり、出荷先が分散している。

鉄鋼では、平成2年調査以降5回連続で愛知県が1位となっている。

一般機械では、東京都が昭和60年調査以降6回連続で1位を継続しているが、やはり他の品目と同様に東京都の割合は低下している。また、過去の調査をみると、首都圏以外では、大阪府や岐阜県、静岡県などが上位に位置している。

電気機械は、4回連続で東京都が1位となり、栃木県が初めて2位となった。（第5表）

第5表 品目分類別、都道府県別、県外出荷額割合の推移
（全品目の合計及び出荷額割合の大きい5品目）

■ 合計	1位		2位		3位		県外出荷額 (億円)
		割合		割合		割合	
S60	東京都	41.2	千葉県	6.5	神奈川県	5.7	36,490
H02	東京都	16.6	神奈川県	9.3	千葉県	6.3	45,124
H07	東京都	14.9	神奈川県	8.7	千葉県	5.7	43,485
H12	東京都	15.2	千葉県	7.6	神奈川県	7.1	44,946
H17	東京都	9.4	千葉県	6.9	神奈川県	6.8	47,353
H23	東京都	10.2	埼玉県	6.7	神奈川県	6.3	51,150

□ 食料品	1位		2位		3位		県外出荷額 (億円)
		割合		割合		割合	
S60	東京都	38.7	埼玉県	16.4	千葉県	8.9	4,540
H02	東京都	24.0	千葉県	16.4	埼玉県	10.8	4,762
H07	東京都	19.5	千葉県	14.9	埼玉県	8.9	5,472
H12	東京都	28.9	千葉県	18.7	埼玉県	15.0	6,528
H17	東京都	16.4	千葉県	12.7	埼玉県	12.2	5,367
H23	東京都	18.0	埼玉県	17.0	千葉県	14.7	8,750

□化学製品	1位		2位		3位		県外出荷額 (億円)
		割合		割合		割合	
S60	東京都	45.6	千葉県	12.4	三重県	7.0	3,391
H02	東京都	14.9	神奈川県	9.6	千葉県	7.9	5,471
H07	東京都	9.8	神奈川県	8.6	埼玉県	8.6	4,043
H12	東京都	8.5	埼玉県	7.9	神奈川県	6.4	6,093
H17	千葉県	9.9	東京都	8.3	栃木県	7.0	6,363
H23	埼玉県	7.3	神奈川県	6.6	千葉県	5.1	6,673

□鉄鋼	1位		2位		3位		県外出荷額 (億円)
		割合		割合		割合	
S60	東京都	49.5	神奈川県	9.1	千葉県	6.7	1,420
H02	愛知県	11.6	千葉県	9.2	大阪府	8.6	5,093
H07	愛知県	11.7	神奈川県	9.5	東京都	7.6	4,551
H12	愛知県	11.1	千葉県	9.8	神奈川県	6.6	2,991
H17	愛知県	8.6	千葉県	8.0	東京都	6.4	4,657
H23	愛知県	9.0	千葉県	8.0	神奈川県	7.6	4,408

□一般機械	1位		2位		3位		県外出荷額 (億円)
		割合		割合		割合	
S60	東京都	47.6	岐阜県	4.8	神奈川県	4.7	8,276
H02	東京都	16.6	大阪府	6.7	神奈川県	6.6	6,211
H07	東京都	26.7	神奈川県	7.4	大阪府	3.3	8,757
H12	東京都	9.2	静岡県	6.5	青森県	4.8	6,773
H17	東京都	5.6	千葉県	4.0	神奈川県	3.9	12,969
H23	東京都	10.2	神奈川県	3.6	大阪府	2.2	10,122

□電気機械	1位		2位		3位		県外出荷額 (億円)
		割合		割合		割合	
S60	東京都	42.0	千葉県	5.7	大阪府	5.3	5,510
H02	神奈川県	11.4	東京都	10.6	大阪府	3.7	8,079
H07	東京都	14.5	神奈川県	8.3	千葉県	3.9	3,897
H12	東京都	18.2	神奈川県	7.8	千葉県	5.9	8,837
H17	東京都	12.6	神奈川県	6.3	大阪府	4.9	3,284
H23	東京都	9.2	栃木県	6.0	千葉県	4.6	4,442

※昭和55年調査では都道府県別の出荷先割合を算出していないため数値は不明であり、表には掲載していない。

※「一般機械」は、はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具を指す。